

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスよよぎ松山校				
		公表日 R7 年 12 月 10 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1	気持ちカードや一人ひとりに合わせた支援ツールを使用している。	今後も最適な教材を用い、意欲的に取り組めるような支援に努めていく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		適切な職員体制を整えている。	利用希望の人数に応じて職員の増員も検討する。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		全職員とPDCAサイクルの確認を行っている。	今後も支援の質向上と業務効率化を図るために、PDCAサイクルに参画していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		こまめに報告・相談し、適切な支援を提供できるよう努めている。	今後も必要に応じて行っていく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		外部研修の機会があれば参加するようしている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		子どもに対してアセスメントを実施している。保護者や訪問先からもニーズを確認し、保育所等訪問支援計画に取り入れている。	今後も引き続き関係機関との連携を図り、適切な支援計画の作成に努めていく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		子どもに関わる全職員に広く意見を求め、適切に反映している。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	1	担任から意見やニーズを聴き取り、計画書にも意向を取り入れている。	継続して訪問先と情報共有を密にし、計画書に反映させていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		子ども一人ひとりに合わせて目標を設定し、計画に沿った支援を行っている。また、振り返りもする時間も作っている。保護者や担任とも確認し、支援内容の共有を図っている。	今後も計画の内容を職員全体で確認しながら、より丁寧な支援の提供に努めていく。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		アセスメント表を使用し、状況の確認を行っている。支援記録を作成したり、アセスメントも実施している。	引き続アセスメントを実施し、個々の子どもに応じた適切な支援に努めていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ガイドラインに沿って具体的な支援内容を適切に設定し、個別支援計画書に記載している。	学校や他事業所とも連携し、今後も継続して行っていく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		子ども一人ひとりに合わせて目標を設定し、計画に沿った支援を行っている。また、振り返りもする時間も作っている。保護者や担任とも確認し、支援内容の共有を図っている。	今後も計画の内容を職員全体で確認しながら、より丁寧な支援の提供に努めていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	毎日個別に支援内容について話し合う時間をつくっている	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援終了後は支援記録を記入している。支援の振り返りを行い、情報共有している。	今後も継続して行い、より良い支援に繋げる。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先の理念や支援手法を尊重した上で支援を行っている。	今後も継続して行いく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		報告書を作成し、支援内容の見直しに繋げている。	今後も継続して行い、より良い支援に繋げる。

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		半年に一度モニタリング会議を行い、子どもの様子や支援内容を振り返り、保育所等訪問支援計画書の見直しを行っている。	今後も見直しを行い、適切な支援計画の作成に努めていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		主に児童発達支援管理責任者や担当指導員が会議に参画している。	日程調整を行い、積極的に参加できるよう努める。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		学校や相談支援専門員と情報共有を行い、連携を図っている。	今後も必要に応じて行っていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	保護者や児童発達支援事業所からの情報を頂いている。	今後も連携を継続し、適切な支援に役立てていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		外部研修に参加している。	今後も継続して行い、より良い支援に繋げる。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		積極的に参加し、他事業所と意見交換を行っている。	今後も必要に応じて行っていく。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		面談や送迎時に様子を伝えるようにしている。また、オフィシャルラインや支援経過にて情報共有している。	今後も必要に応じて行っていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	実施ができていない	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約や面談時に丁寧に説明を行っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		適宣話をする機会を作り、趣旨や目的等を説明している。	今後も必要に応じて行っていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		利用者本人のニーズの聞き取りを行ったり、面談等で保護者のニーズを確認する機会を設けている。	今後も意向確認の機会を設けていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		更新時には面談を行い、保育所等訪問支援計画書の内容を説明し同意、署名をいただいている。	今後もわかりやすい説明を心がけていく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		電話やオフィシャルライン、面談時など相談を受けた際には適切に対応している。	今後も保護者に寄り添った支援を継続していく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	保護者会の実施ができていない。	ニーズがあれば、さらに交流の場を広げる活動も実施していきたいと考えている。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		電話やオフィシャルライン、面談時など相談を受けた際には適切に対応している。	今後も保護者に寄り添った支援を継続していく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		取り扱いに関してルールを取り決め、職員間で周知している。	今後も個人情報保護を徹底し、安心して利用していただける環境づくりに努めていく。
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		特性に応じて言葉の選び方や視覚的資料の活用などの工夫を行っている。 保護者とはラインやメール、電話にてやりとりを行い、確認を行っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		訪問先からの相談や意見を伺う機会を設けており、適切な助言や支援を行っている。	今後も必要に応じて行っていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		実施後には適宜カンファレンスを行っている。	今後も継続して行い、より良い支援に繋げる。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		実施後には記録を作成し、保護者に共有している。	今後も継続して行っていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		取り扱いに関してルールを取り決め、職員間で周知している。	今後も個人情報保護を徹底し、安心して利用していただける環境づくりに努めていく。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	1	こまめに連携をとることで訪問先と信頼関係が築けるよう日々努力している	今後も継続して行い、より良い支援に繋げ る。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		研修・実地訓練を行っており、HPにてマニュアルを掲載している。 インスタグラムに掲載することで周知を図っている。	今後も課題や改善すべき内容があった際には、検討及び導入していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		送迎マニュアルや事故防止マニュアルに関して年に1回見直しを行っている。また、研修や訓練を実施している。	今後も継続して安全管理を行っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有している。原因を分析したり再発防止策について会議を行っている。	今後も継続して情報共有や改善を行っていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止委員会を設置し、事業所内研修を行っている、	今後も継続して行っていく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		個別支援計画書に記載している。 保護者にも説明し、了承を得ている。	今後も継続して行っていく。